

製品・サービス動向-国内

■スターティアホールディングス：データ連携ツール「JENKA」、Web 会議システム「Zoom」との連携を開始

(PRTIMES:2月12日)

スターティアホールディングス株式会社 (<https://www.startiaholdings.com/>) (東京都) は、連結子会社でバックオフィスDX支援事業を手掛けるスターティアレイズ株式会社 (東京都) が提供するデータ連携ツール「JENKA (ジェンカ)」 (<https://jenka.jp/>) において、Web 会議システム「Zoom」との連携を開始したと発表。



データ連携ツール「JENKA」、
WEB 会議システム「Zoom」との連携を開始

JENKA と Zoom の連携開始 (スターティアホールディングス)

現在、Zoom を活用したオンラインミーティングがビジネスの場で一般的となり、セミナーやイベントもウェビナー形式が主流となっている。しかし、会議のスケジュール管理や録画データの共有といった業務は、手作業で行う場合に煩雑で手間がかかるうえ、人手やリソース不足が課題となっていた。こうした課題を解決し、業務の自動化・効率化を実現するため、JENKA の Zoom 連携機能を開発したという。

今回の連携では、Meeting のレコーディングデータを

自動保存 (Google Drive や Dropbox、box など) し共有 (Slack や Chatwork など) したり、Google カレンダーや Outlook カレンダーを使った Meeting のスケジュール登録と URL の自動発行が行えるようになる。さらには、Webinar 連携では、ウェビナーの完了を自動検知後アンケート情報や参加者リストなどを取得し、特定のスプレッドシートに集約し、その URL をチャットツールで通知したり、Salesforce や kintone などへデータを追加するなど可能になる。

連携により、業務効率化と作業の正確性向上を実現し、顧客の働き方を支援する。

同社では、今後もお客様の業務プロセスを最適化するための iPaaS ソリューションを提供し、幅広い業界での活用を推進していくという。加えて、お客様の声を取り入れながら、多彩な SaaS との連携拡充や機能強化を進め、さらなる業務効率化と DX 推進に貢献していくとしている。

スターティアホールディングスは、国内労働力減少を社会課題と捉え、「働き方改革」として労働生産性の向上やダイバーシティの対応として、RPA 「RoboTANGO」や iPaaS である JENKA の業務効率化のツールを中心に展開している。PC 作業の自動化支援を始め、人工知能を使ったファイル自動識別での検索サポートなど、労働者の作業効率を向上させるサービスを他事業者とのアライアンスを駆使して、新しい価値の IT ツールを市場に先駆けて展開している。

JENKA 連携サービスとしては、OpenAI、Microsoft365、Google 系アプリケーション、LINE Works、BowNow などもある。なお、未連携の SaaS であっても要望に応じて連携を行うことが可能という。

ビジネス動向-国内

■ナガヨシ：Amazon エコーを活用した高齢者向けオンラインサービス実証実験を開始

(PRTIMES:2月4日)

株式会社ナガヨシ (<https://www.nagayoshi.info/>) (大分県豊後大野市) は、Amazon エコーを活用した地域医療機関・介護事業所のオンラインサービスの実証実験を大分県豊後大野市内で2025年2月より開始する。

本プロジェクトは、高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう支援することを目的としており、地域の医療難民や医療・介護従事者の人手不足などの課題解決に貢献するもの。



本サービスでは、Amazon、NTT ビジネスソリューションズ、地域の医療機関、介護事業所の協力のもと Amazon エコーの音声認識技術とオンライン通信機能を活用し、高齢者の生活をサポートするという。2月～8月まで実施され、市内在住で通院が困難な要介護・要介護高齢者など約20名が対象となる。

提供する機能としては、ビデオ通話を使ったオンラインでの診療と服薬指導、音声での服薬時間の自動リマインド、ケアマネージャーによるビデオ通話での相談対応などのほか、訪問看護・訪問リハビリサービス提供時に医師からビデオ通話を通じて指示を受け取るなども行う。

実証実験結果を検証したうえでサービスに改良を加え、2025年9月以降に本格的なサービスを開始する予

定という。

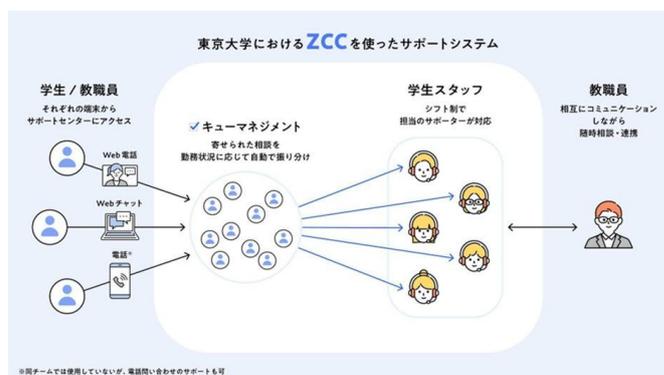
ナガヨシは、1939年に衣料品店として創業し、2000年の介護保険制度開始に合わせて高齢者向け福祉用具のレンタル・販売・バリアフリー工事等、高齢者向け福祉住環境整備サービスを新たに事業化した。現在では、大分県を中心に8営業所を展開し、約3,200名の利用者にサービスを提供している。

導入利用動向-国内

■ZVC Japan：東京大学 utelecon プロジェクト、「Zoom Contact Center」導入でITサポート窓口業務を効率化

(PRTIMES：2月26日)

ZVC Japan 株式会社 (<https://www.zoom.com/ja>) (東京都千代田区) は、国立大学東京大学 (<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/index.html>) (東京都文京区) の「utelecon プロジェクト」が、「Zoom Contact Center」を2024年1月に日本国内で初導入し、学内向けのITサポート窓口として業務効率化およびチームの円滑なコミュニケーションを実現していると発表した。



東京大学における Zoom Contact Center を使ったサポートシステム (ZVC Japan)

東京大学の utelecon プロジェクトは、学内で利用できる各種 IT システムとサービス全般に関する質問にワンストップで対応している組織で、学生を主体に、教職員がサポートする形で運営している。その学生サポーターの活動を支えているのが Zoom Contact Center。

東京大学ではこれまで、システムによって管轄組織

が異なるため対応先が不明瞭、対応に時間を要するなど、IT サポート体制の改善が必要とされていた。加えて 2020 年のコロナ禍の緊急事態宣言により大学は休校を余儀なくされ、オンライン授業のシステム作りやデジタルに不慣れな学生と教職員のサポート対応が急務となった。そこで生まれたのが、学生と教員がワンチームとなって IT に関する困りごとをサポートする utelecon プロジェクト。

窓口を utelecon プロジェクトに一元化したことでユーザの利便性は高まった一方、繁忙期には月 1,500 件を超える問い合わせが集中し、スタッフの数も増加した。しかしながら、プロジェクトの規模拡大に伴い、割り振りのオペレーションが煩雑化するという新たな課題に直面した。また、さまざまな問い合わせ方法に対応するため、通話やチャットなど複数のアプリを同時並行して使用しており、対応済みの案件かどうか確認するにもその都度アプリ間を移動する手間を要していたという。このような経緯から一つのツールで容易に管理ができ、参照用に対応履歴が残せ、サポーター間の業務量の均等化がかなうサービスを探したところ、ニーズを満たすのが Zoom Contact Center だったという。

加えて、ニーズにあったサービスであることに加え、コロナ禍以降、「Zoom Meetings」の導入のため密なコミュニケーションを日本の Zoom と重ねており、ここまで培った信頼関係と細やかなサポート体制、そしてプロダクトの使いやすさが決め手となって、2024 年 1 月に Zoom Contact Center の導入に至った。

導入後の効果としては、(1) アプリの一元化による業務の効率化、(2) キューマネジメント機能による業務量の均等化、(3) 転送機能による作業負担軽減、(4) 安定した動画・通話品質による円滑なコミュニケーションの実現など、を挙げる。

現在、utelecon プロジェクトでは、メールの問い合わせのみ案件管理に他のソリューションを使用しているが、今後 Zoom Contact Center と連携できるようになればさらに情報を一元化できるとメンバーは期待を寄せ、機能開発を進めているという。

*東京大学：教員の困りごとを学生が解決！面倒な IT サポート、もっとスムーズに 東大生たちの試行錯誤

<https://www.zoom.com/ja/customer-stories/university-of-tokyo/>

■ギンガシステム：新潟県長岡市が取り組む オンライン診療のビデオ会議システムに LoopGate 採用

(NEWSCAST:2月14日)

ギンガシステム株式会社 (<https://ginga-sys.jp/>) (大阪市北区) は、新潟県長岡市 (<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/>) が取り組むオンライン診療のビデオ会議システムに、テレビ会議システム「LoopGate」が導入されたと発表した。



オンライン診療車 (長岡市提供、ギンガシステム)

長岡市の山間部地域では、将来的に医師の確保が困難になることが予想されるため、安定した医療提供を可能にする新たな仕組みが求められている。そこで市が検討したのが、オンライン診療の導入。その試行として 2023 年 1 月から、長岡中央総合病院の医師と山古診療所に来院した患者をつなぐ、ビデオ通話での診療を開始した。

そういった中、2023 年 11 月に患者の自宅近くまで出向く「オンライン診療車」を導入。病院・診療所・診療車の 3 拠点をつなぐオンライン診療を開始した。

当初使用していた従来の Web 会議ツールでは、操作の煩雑さや音声・映像品質の問題があり、スムーズな

診療が困難という課題があった。そこでこの問題の解決策として、ビデオ通話のツールを従来の Web 会議システムから LoopGate に移行した。

LoopGate (<https://loopgate.jp/>) は、3,000 社以上の企業や官公庁に導入されている、日本国内で開発している国産のテレビ会議システム・Web 会議システム。会議室やオフィスの一角などに設置する据え置き専用機だけでなく、パソコンからも接続できる利用シーンの豊富さと安定した接続性、さらに、誰でも簡単に扱えることを重視したオンラインコミュニケーションツール。LGWAN(総合行政ネットワーク)、オンプレミス、VPN などのセキュリティ環境下への導入にも対応している。なお、実機デモンストレーション、実証実験、相談を受け付けている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■RICOH x ヤマハによる「“高品位”な文字起こし & 議事録作成を実現するためのマイク選択術」ウェビナー

日時：3月19日(水) 15:00~16:00

会場：オンライン

主催：ヤマハ株式会社

講演：リコージャパン株式会社、ヤマハ株式会社

詳細・申込：https://sound-solution.yamaha.com/lp/webinar_202503

■ブイキューブセミナー情報（3月）

「超低遅延の応答を実現！リアルタイム会話型 AI で未来を切り開く」「社内の「動画活用」について先進企業の担当者がリアルを語る」など

会場：オンライン/オンデマンド

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（3月）

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

お知らせ（重要）

—配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を2024年10月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dtc-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebook ページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

>メーリングリスト (dte-forum)

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

■CNAレポート・ジャパン 2025年2月28日号

ホームページ: <https://cnar.jp>

お問い合わせ: inquiry@cnar.jp